

モリワキ モンスターをヨンフォアで再現!

70年代当時物のセレクトパーツと BRCオリジナルパーツで固める!

『モリワキカラーにはブラックエンジン!』

当時、ヨンフォアのモリワキ・モンスターは存在しなかった。しかし、驚くほどモリワキ・モンスター感のあるヨンフォアカラエレーサーを仕上げたのは、徳島県に店舗を構える絶版バイク部品専門店のBRCだ。数年前にBRCのデモ車と仕上げられたが、モチーフはあれど全く存在しないモデルのため、イメージ作りからパーツセレクト、さらにワンオフパーツ製作までかなりの時間を要したという。

ヨンプリートモデルさながらの隙のない造り込みは、制作にあたった渡辺代表の想いが投下され、「ありそうでない」唯一無二の存在感を醸し出している。パーツチョイスも当時物にこだわり、ハイパワー・マシ化も時代背景と当時の技術レベルを考慮しルックスとバランスさせている。

拘りのディテールは次頁にて写真付きでピックアップしているが、圧倒的なモリワキ・モンスター感を感じさせるのは、セレクト製外装をメインにしたペイントかもしれない。そのペイント、主にイ

エローラインの配色を活かす細部の部品チョイスやカラー変更は、あまりに細かすぎて解り辛い領域かもしれないが、想いを形にするには欠かすことのできないエッセンスとなっている。

ヨンフォアオーナーなら、ずともキャッチな「アイテム」として、『モリワキ』「ロヨ入り各エンジンシカパー類が気になるだろう。しっかりと砂型アルミ鑄造にて造られ、コントラストを決める精度の高い切削とペイントで、市販品のクオリティに達している。デモ車とはいえ、ほぼ渡辺代表の趣味の延長線ともいえる熱の入った製品だが、当然非売品で贅沢なワシオフパーツとなっている。

BRC 1975 CB400FOUR

BRC

徳島県徳島市住吉 5-8-31
TEL 088-622-0003
<https://www.brcinc.co.jp/>



主にミドルクラスの絶版空冷4気筒モデルのパーツを数多く取り扱う、パーツ専門店のBRC。車両維持に不可欠なパーツ等々、メーカー欠品のお困りパーツも自社で開発（しかも、アイディアを盛り込んだアップデート品）する、絶版車ユーザーにとっては心強い存在となっている。リビルドパーツ群の評価は高く、当時物のメッキ表情に合わせたネジなどは、純正品を凌ぐ仕上がりをみせ、オーナーの要望に寄り添ってくれる頼れるパーツ専門店だ。そんなBRCが手掛けたヨンフォアベースのモリワキ・モンスター仕様をご覧ください。

■撮影：鈴木広一郎 ■文：編集部 ■協力：BRC

ヨンフォアのモリワキ・モンスターを創造で製作



イエローラインを活かすギミックが！

当時物となるセレクト製ロングタンクとシングルシートを装備し、モリワキモンスターを彷彿させるカフェレーサーに仕立てられる。ブルーベースにイエローラインのペイントに合わせ、メーターパネルもワンオフのイエロー仕様に統一される。マスターシリンダーキャップも、本来はシルバー文字のところゴールド文字に変更したワンオフ物となる。スリット入りサイドカバーはBRCオリジナル製品。セパレートハンドルは当時物のリード製。



カフェレーサー御用達のクラムプタイプのアルミ製バックステップはBRCオリジナル製品となっている。

BRCオリジナルセブンスタータイプホイールはダブルディスクを装備する。フロントフェンダーは、厚みをもたせたFRP製フロントフェンダーとフロントスタビライザーはBRCオリジナル製品。



フロントマスターシリンダーキット(5/8) Wディスク対応品 価格：5,940円(税込)



純正のマスターシリンダーを5/8サイズへ大径化した際に必要となるキット。



人気車種であるヨンフォアのパーツは、カスタムパーツやエンジン内部のパーツも含め、かなり手厚く揃っていると聞く。修理などで困ることがほとんどない状況で、ある意味安心して乗れる絶版車の一台といつて良いのがヨンフォアだろう。他車種と共有するパーツは、製造から50年以上経つ現在でもメーカー純正パーツとして供給されている事実が驚かされてしまう。ただ、日々メーカー欠品パーツが発生しているのも事実で、そんな実情をキャッチし、使い勝手や性能向上といったアイデアを盛り込んだリビルドパーツの供給を行っているのがBRCだ。

日々の要望に応える頼れるショップ

「こんな物まで？」といった小さな部品からカスタムパーツまで、機能と当時物のエンセンが利いたパーツ群を前にすると心強く思ってしまうというもの。しかも、ヨンフォアだけではなく350フォア用のパーツも多くラインナップされているのもありがたい。最近では、マスターシリンダー内径ボーリング加工(Wディスク化対応5/8サイズへ)に伴い必要となる、インナーキットの発売も再開したという。絶版車に乗りにとって、避けては通れない整備&修理パーツ関連でお悩みの方は、まずはBRCのホームページを覗いてみよう！

モリワキ・モンスターらしさ徹底追求！



BRC 1975 CB400FOUR

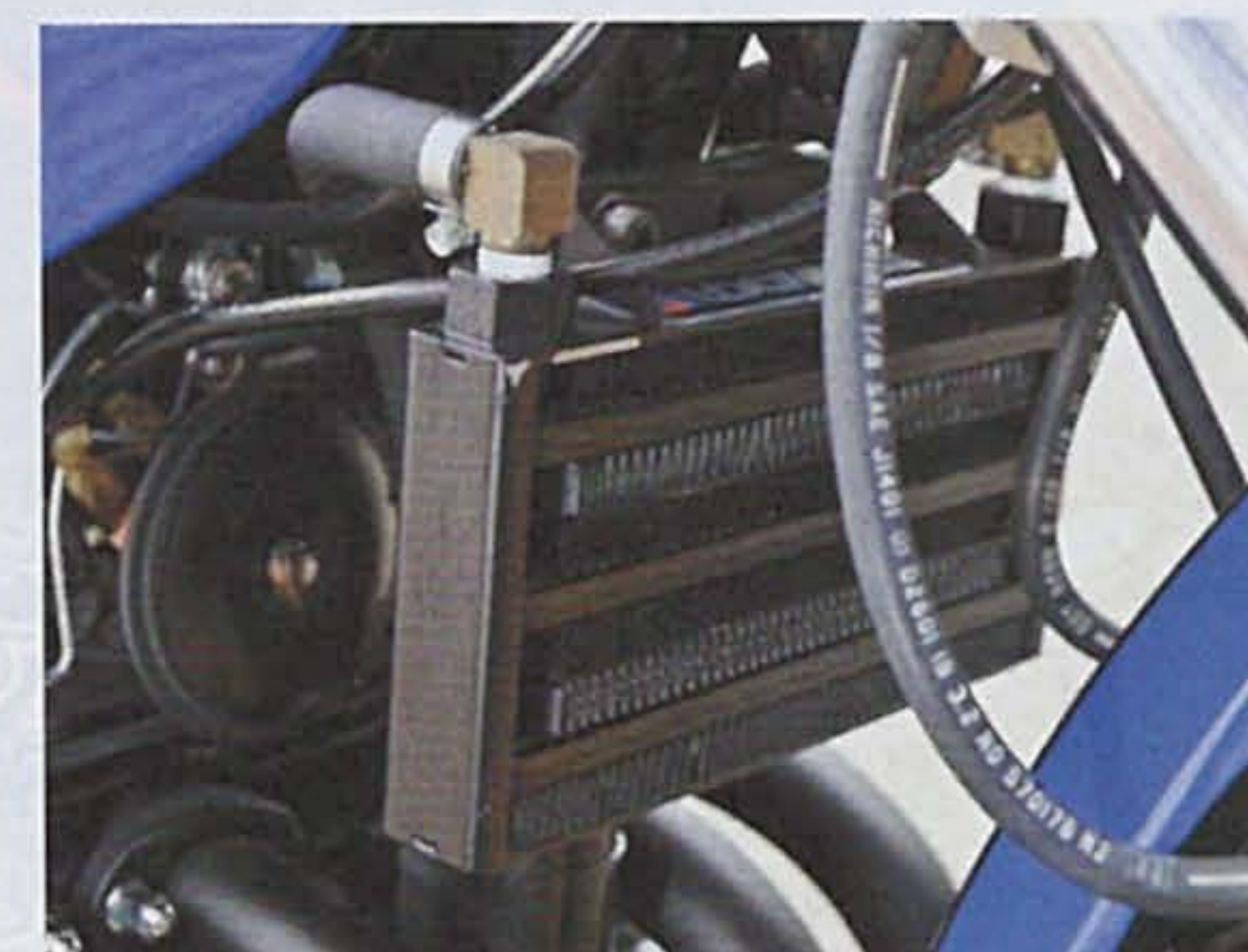


雰囲気重視のブラックエンジン

モリワキ・モンスタースタイルのブラックアウトされたエンジンは、398ccベースにヨシムラφ54.5ピストンキットにより466ccへ排気量上げる。カムもヨシムラST1カムを使用し、クランクは408cc用を採用。BRCオリジナルレーシングビッグバルブを組み込み、ポート研磨加工を受ける。キャブレターはφ26CRキャブレター。マフラーは、モリワキ最終手曲げ管(当時物)。ロゴ入りのカバー類は、砂型から製作したこの車両だけの一品モノ。カバーの裏側にも「ME」の刻印が入るこだわりをみせるが、もちろん非売品となっている。



Z2用モリワキスイングアームを加工取り付け。リアショックはスタンダードで黒と黄カラーのS&W製モンローショック。デッドストックの盗難防止キャップがアクセントになる。セブンスタータイプのホイールは、BRCオリジナル製品。



エンジン冷却系は、ロックハート製レーシングタイプオイルクーラーを採用する。ちなみに、上の写真でイエローのプラグキャップは当時物のキジマ製をチョイスしている。



セレクト製外装に合わせ、ノーマルの小さすぎるヘッドライトから、一回り大きくリム幅の厚いGS400用ヘッドライトカバーを採用。内リムを使用しシビエランプを装備する。